

着物姿でモダンなひととき



着物姿でコンサートを楽しむ参加者＝3日、鳥取市東町2丁目の仁風閣

鳥取・仁風閣で「きもの日和」

「きもの日和 in 鳥取―仁風閣コンサート―」が3日、鳥取市東町2丁目の国指定重要文化財・仁風閣で開かれ、思い思いの着物に身を包んだ着物愛好家約30人が、優雅なアンサンブルの音色に聞き入った。

着物を着る機会をつくり、着物の魅力を知ってもらうことを目的に「きものde和遊び」（大石富久子代表）が企画。4年前から年6回の活動を続けている。

この日は、仁風閣2階の謁見所えいけんじょに、20〜70代の着物愛好家が集合。クラリネット、ピオラ、ピアノのアンサンブルグループ「トリオ・アミ」が、独自にアレンジした唱歌「ふるさと」などをしつとりと演奏した。参加者は仁風閣のモダンな雰囲気の中、心地よい調べに包まれていた。

大石代表は「これからも活動を通じて、若い人にも『遊び感覚』で着物を着る楽しさを知ってもらいたい」と話していた。